

# 2012年11月22日(木) 8:00~10:50 後期第7回

・朝一小嘶の配布資料の重要な箇所にはラインを引いておく。

・今後の予定

11月24日(土) ベネッセ challenge 9:50 集合@8101

11月29日(木) iPadの貸出(~1月末)

和田さんの議論活性化実験

いいね金沢動画コンテスト出品作品披露

・2次募集

合格人数：6名程度を予定

時間：16:30~3時間程度 1人あたり MAX10分

場所：試験会場@5706 控室@5704

名簿順に実施

当日アンケートを配布：学籍番号・学科・名前

出身地+出身高校

1次募集で受験したゼミ+不合格だった理由

大学生活で力を入れていること

あなたはどのようにゼミに貢献できるか

自己PR

・本日の小咄(担当者：大内)「国産初の手術ロボ開発」

九州大学先端医療イノベーションセンターは新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)などと共同で国内初となる内視鏡手術の支援ロボットを開発した。米国製支援ロボット「ダヴィンチ(約3億円)」に比べ、小型で安価(1億円以下)、また立体的に映像を映すことができ対応可能な手術の種類も多い。人体の表面や頭蓋骨に開けた小さな穴からカメラやメスなどが付いたアームを挿入して操作する。内視鏡カメラで撮影できる範囲が広く、画像も立体的で鮮明なのが特徴。従来は挿入穴から見えない場所にある腫瘍の切除は難しく5年後の生存率も低かったが、今回の視野の広がりにより腫瘍の取り残しが減り生存率も大幅に上昇した。

これの導入により「医師」という職業とは何か?という疑問が投げかけられる。もしこれが広く浸透することになれば、医師はロボット操作者、つまり技術者になるのではないだろうか。また海外からの執刀も可能になるかもしれない(その場合の責任の所在は?)。しかし日本人の細かい作業が得意という気質には合うだろう。

・本日の小咄(担当者：中川)「高度な業務も外部委託」

社内の業務を一部外注する「ビジネス・プロセス・アウトソーシング(BPO)」が日本でも活発になってきた。「人事」「財務経理」「調達購買」「カスタマーケア」の4分野のBPO市場は2011年時点で5656億円。海外BPOが伸びる理由は人件費の安さとITの進歩。最近では海外BPOが単純なデータ入力業務を超え、株価基準額の計算、製品の設計、集中購買計画の立案といった付加価値の高い業務も受託するようになってきた。

ここまで企業の中核になり得る業務のアウトソーシング化が進んでいることに対し、企業側は情報流出の危機感を感じていないのだろうか。もちろんアウトソーシング化は時代の流れであり、またリバースオークションが普通の今日の社会でのコスト削減策の流行でもある。しかしアウトソーシング化を進めすぎた企業に存在価値はあるのだろうか?また欧米式の明確な役割分担は正しいのだろうか?アウトソーシング化には会社が伸びないというデメリットがある。例えばアメリカはプログラミングをインドの企業にアウトソーシングしている。その仲介業務をビジネスとする会社も登場している。

・ビデオ視聴「NHKスペシャル メイド・イン・ジャパン 逆襲のシナリオ」